

つなぐ
「**繋**」 ささえあい
すべての世代を「つなぐ」やさしい街に！

神戸市会議員
(垂水区)

つよし
たなびき剛

tanabiki-tsuyoshi.com



たなびき 剛

検索

〒655-0048 神戸市垂水区西舞子 9-15-23
TEL:080-6111-9970 ✉ tanatsuyo02@gmail.com

編集・発行：立憲民主党神戸市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

9月議会が開催！神戸経済の成長、神戸観光の推進について質疑

9月18日から10月28日まで9月議会が開催され、新型コロナウイルス感染症対策の補正予算（第3弾）を含む令和2年度決算を中心に議論が行われました。本会議では、令和元年度決算の今後の見通しや神戸経済の成長、神戸観光の推進などについて会派を代表して質疑を行いました。また、決算特別委員会では、行財政局と交通局への質疑を担当しました。



代表質疑

神戸夜市の実現に向けた取り組みについて

質 これまで私たち議員団では、神戸経済の発展のため滞在型観光として「神戸夜市」を提案してきたが、現地点の検討状況についてどのように考えているのか？

答 常設型の設置に限らず、期間限定による開催も含め検討してきた。また、設置場所についてもアクセス面等考慮しながら検討している。今後も、神戸夜市の積極的な取り組みを進めていきたい。

質 令和3年4月から都心～ウォーターフロント間で連節バスが本格運行となり、回遊性が高まることから、メリケンパークでの神戸夜市の開催を検討してはどうか？



答 メリケンパークでの夜の賑わいづくりは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、時期を見極めながら期間限定で試行的に実施し、効果等を検証していきたい。

要望 コロナ禍の状況ではあるが、神戸経済の発展のため「神戸夜市」の開催に向け引き続き検討いただきたい。

9月議会の詳しい内容は
神戸市会ホームページへ

神戸市会



決算特別委員会

神戸市民への情報発信について

対行財政局

質 市民への広報活動について、インターネット環境をお持ちでない方や不得手な方、外国人への情報発信はどのようなに行っているのか？

答 インターネット環境を持たない方へは、広報紙 KOBE やデジタルサイネージ、テレビ・ラジオなど多様な媒体を活用し幅広く情報発信を行っている。また、外国人に対しては、ホームページで英語、中国語、ベトナム語のページを作成し、情報提供を行っている。

垂水区清玄町から垂水駅へのバス路線について

対交通局

質 垂水区清玄町地域では、垂水駅方面へのバス路線がないため、この地域から垂水駅方面へ結ぶ路線を設定することはできないか？

答 現在、垂水区清玄町から垂水駅方面への路線については市バスの運行は行っていない。現状、この地域へ新たに路線を設けることは難しいが、他社との協議も踏まえどのようなことができるか研究していきたい。

要望 垂水区に居住しているにも係わらず、区役所のある垂水駅方面に出ることが困難な地域である清玄町に新たな路線を設定いただきたい。

令和2年度

新型コロナウイルス感染症対策補正予算（第3弾）

概要



検査体制の強化及び
医療体制の安定的確保

- 不安を抱える妊婦を対象に分娩前 PCR 検査の実施
- 軽症者等を受け入れる宿泊療養施設の通年化



社会福祉施設等に
おける感染防止対策

- 公立幼稚園・児童福祉施設等における感染拡大防止対策（消毒液・パネル等の備品購入費等の補助（1施設あたり50万円等））
- 救護施設職員に対する慰労金支給事業



子どもたちの学びや
障がい者の就労を推進

- 小中学校における教員の追加配置
（休業期間中に生じた学習の遅れを補うため、最終学年（小6、中3）における少人数指導等の実施に要する教員を追加配置）

- GIGA スクール構想（1人1台端末）の推進
（必要なインターネット環境を確保するために、
学校園のネットワーク整備などの強化を実施）
- 障がい者の就労継続への支援
（生産活動が停滞し減収となっている就労継続支援事業所に対して、
事業の存続や再起に向けて必要な固定費・新たな販路拡大等に
かかる費用を支援（1事業所あたり最大50万円））

新型コロナウイルス感染症対策に関する相談窓口

新型コロナウイルス専用 健康相談窓口（24時間対応）	078-322-6250 FAX:078-391-5532	兵庫県の相談窓口 （24時間対応）	078-362-9980
垂水区保健センター	078-708-5151 （平日8:45～17:15）	新型コロナウイルス感染症拡大で 不安を感じている方へ 精神保健福祉センター相談窓口	078-371-1900 月～金：8:45～17:15 （12:00～13:00・祝日を除く）
新型コロナウイルスに係る 厚生労働省の相談窓口	0120-565-653 （9:00～21:00）		

※相談窓口の情報は日々更新されます。各窓口にて詳細をご確認ください。



図書館が新しく生まれ変わります!!

新図書館では十分なスペースを確保し、市民がゆっくと本に親しむことができるよう座席数を増やすなど、居心地のよい滞在型の図書館を目指します。
更には、図書館西側の駅前広場と一体感があり、ゆとりある空間づくりをめざします。

こんな図書館になります

位置	垂水駅北東の駐車場部分に移転 独立した図書館建物として整備	
専有面積	現図書館の2倍以上（約1,500㎡）	
蔵書数	10万冊を超える規模（現図書館約9万1千冊）	
その他	1階部分は一般車両の交通ロータリー 2階、3階部分に図書館	
整備のスケジュール（予定）	令和4年度～	工事
	令和5年度～6年度	竣工



OPEN 神戸～市民に開かれた市政～

神戸市会議員 中央区

よこはた 和幸 かずゆき

よこはた和幸事務所

〒650-0012

神戸市中央区北長狭通 4-1-12-8 階

TEL:078-335-0661 FAX:078-335-0662

E-mail : info@yokohata.net

2020 年冬号
市会報告

編集・発行 立憲民主党神戸市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

決算議会報告（期間：9月18日～10月28日）

インフルエンザ流行での
新型コロナウイルス対策に注力！

終息しないコロナウイルス感染症が、感染拡大期に移行しても、医療崩壊を起こさないことや、抗原検査・抗体検査・PCR検査の充実させねばなりません。インフルエンザ流行期でも市民の安心・安んを享受することが必要です。



決算特別委員会での質疑抜粋

さらに詳しい質疑の内容は
神戸市会ホームページをご覧ください



新型コロナウイルス感染症対策について

- Q** PCR検査など充実させつつ、医療崩壊を起こさせてはならない。どのような対策を行うのか。
- A** 中央市民病院に重症患者向けの臨時病棟の整備を 11 月の初旬から稼働予定している。遠隔医療システムの導入など診療の支援はじめ、市内で医療体制の充実や安定確保をさせていただきたい。今後感染が増加し、感染拡大期に移行しても必要な病床を確保できると考えています。
- Q** 罹患者や医療・介護従事者やそのご家族に対しての風評被害の防止を徹底すべき。
- A** 大変重要なことと考えています。誰もが感染する可能性があること、罹患者を特別視しないことについてあらゆる場で啓発していきたい。心のケアも重要であると感じています。

ふきあい南北バスについて

- Q** ふきあい南北バスについて、前回の試験運行の反省を活かして、再開に向け運行を見据えてほしい。
- A** 利用の多い地域を対象にアンケートなどを通じて目的に応じたルートやバス停の配置を具体化したしまして、令和 3 年春ごろ試験運行を再開したいと考えている。



神戸市の財政上の課題について

- Q** 神戸市の財政上の課題は、人口が同規模の川崎市や福岡市に比べて市税収入が少ないことである。目標数値をもって市税収入の向上をすべき。
- A** ICTや文化・デザインなどいわゆるカタカナ業種の集積が薄い。これらの誘致をしたい。神戸空港、湾岸線、三宮再整備など中期的に投資を行い税減の確保に繋げていきたい。

国際金融センターの誘致について

- Q** 政府は、国際金融センターを東京に 1 つ、もう 1 つを関西圏か福岡圏のどちらかに選定する。神戸も積極的に誘致を働きかけるべき。
- A** 国の動きを注視し、情報収集をさせていただき必要な働きかけをしっかりと行いたい。

JR 神戸駅周辺の整備について

- Q** JR 神戸駅北側は湊川神社や個性のある商店も多く魅力がある。ハーバーランドだけでなく北側の整備も併せてすべき。
- A** バスやタクシーのロータリーなどが多くを占めており、人が快適に滞留できる空間が少ないといった点や回遊性が乏しいのが課題である。神戸駅前を風格ある空間にするために、車や人の動きを調査して検討している段階である。

裏面へ続く

西元町駅周辺の活性化について

Q 西元町駅周辺の活性化のためにも、横断歩道や地下道などでハーバーランドとの動線を確保すべき。



A 弁天町交差点が重要と考えている。西元町側にエレベーターを設置し、デッキをumieの建物まで延伸する。

ポートアイランドの将来構想について

Q ポートアイランドについて、人口設定から含めて、まちづくり構想をしっかりと設定し、島の将来構想を作るべき。

A 現在、大阪湾岸線の整備や港島学園の施設一体化校舎の整備など、地元と協議している。まちづくりを担う神戸市（都市局）としても、未利用地の利活用も含めて方向性を検討したい。

新型コロナウイルス感染症における各相談窓口一覧

※相談窓口の情報は日々更新されます。
各窓口にて詳細をご確認ください。



相談

感染の疑いや健康不安になった場合	新型コロナウイルス専用相談窓口	078-322-6250 (24時間対・多言語対応)
予防に関すること、健康不安に対する相談。 少なくとも右記事項に該当する方は すぐにご相談ください。	1. 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、光熱などの症状のいずれか。 2. 高齢者や基礎疾患（糖尿病・心不全・呼吸器疾患等・免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方）のある重症化しやすい方で、発熱や咳のある比較的軽い風邪の方。 3. 上記以外でも、発熱や咳など比較的軽い風邪症状が持続する場合。	
生活が逼迫した、家賃が払えない、収入がなくなったなど相談したい場合	くらし相談窓口（中央区役所） ※くらしの相談窓口と教えてください。	平日 078-232-4411
育児や子育てに不安を感じた場合	子育て相談ダイヤル ※土日を含む24時間対応	真正塾 078-341-6493 しらゆり 078-594-7785 おるおるステーション 078-371-4351
上下水道料金の支払いが困難な場合	水道料金・下水道使用料の支払い猶予制度	水道局中部センター 平日 078-341-5451
風評被害を受けた場合	新型コロナウイルスに関連して、偏見、差別、いじめ、SNS等での差別的な被害があった場合。	神戸市人権推進課 平日 078-322-5234
経営全般に関して困ったとき（事業・財務・資金繰りなど）	神戸市経済政策課 078-360-3205 神戸商工会議所中央支部 078-367-3838 ひょうご・神戸経営相談センター 078-977-9079	商工中金 0120-542-711 日本政策金融公庫 0120-154-505

貸付・給付などの支援

コロナに感染した場合の手当	罹患した場合、働くことのできない期間の手当て 1日あたり上限 30,877円	中央区役所 保険年金医療課傷病手当金担当 平日 078-232-4411
住宅確保給付金 離職などにより経済的に困窮し住宅を喪失している方、または恐れのある方	単身：40,000円、2人：48,000円、 3人～5人：52,000円、6人：56,000円、 7人～：62,000円	くらし支援窓口（中央区役所） 平日 078-232-4411
市税の猶予をしたい場合	原則1年間猶予し、期間中は延滞金がかからない。	神戸市税務部収税課 平日 078-647-9475
国民健康保険・介護保険・国民年金保険後期高齢者医療保険を猶予したい場合	保険料を納めることが困難と認められる場合で、一定の要件に該当する場合は、保険料の減免。	中央区役所 平日 078-232-4411
生活福祉資金貸付（新型コロナウイルス特例貸付）	手元に緊急の現金が必要な時 収入減などに対する10万円～20万円個人貸付	社会福祉協議会 全日 078-262-1626
住むところがなくなった場合	退去を余儀なくされた場合は市営住宅に入居 市内100戸、家賃は2万円～4万円程度	神戸市住宅管理課 平日 078-595-6541
家賃支援給付金	法人最大600万円 個人事業主最大300万円	家賃支援給付金コールセンター 平日 0120-653-930

2. 妊婦へのタクシー利用料の助成について

質問 妊婦さんの移動支援については、一時的な緊急対策ではなくて、**神戸市の恒久的な事業**として何とか実施できないか。

答弁 効果や利用状況を見た上で、妊婦全体の施策の中での検討を行い、しっかりと議論したいと考えている。

要望

タクシー業界も乗車がかなり減って売上げが厳しい中、**どこのタクシー会社でも使える**、妊婦さんにもタクシー会社さんにもうれしい支援であってほしい。



3. 保育所の広域利用について

質問 今年度はパーク&ライド型の保育所が開所し、来年度に向けては**保育送迎ステーションの活用**が予定されている。保育所の広域利用を進めていく上で、今後の展望を伺いたい。

答弁 駅の周辺などの利便性の高い場所でお子さんをお預かりし、バスで保育施設まで送迎をする保育送迎ステーションの取組を、市内の3エリア（東灘区御影、中央区三宮、元町）で、令和3年4月開設をする予定になっている。

要望

駅近は大変人気があり、なかなか利用がしにくいですが、広域で少し離れたところになると、**定員に余裕があり園庭も広く、子どもたちにとって有意義な教育環境**になると思う。引き続き広域利用にも努めていただきたい。

神戸市の子育て情報

●子育て支援サイト「ママフレ」

こうべのまちでの子育ての魅力や行政サービス、子育てマップなど、必要な情報が盛りだくさんのポータルサイト。



●こうべ子育て応援メール

知っておきたい妊娠生活や育児のアドバイスなどが、タイムリーに届きます。（登録は、QRコードを読み取り、空メールを送ってください。）

対象：妊娠中から3歳までのお子さんを持つ方とそのご家族



4. 子ども食堂への支援について

質問 子ども食堂を運営する団体からは、事業開始資金の確保や安定的な運営が難しいという声も伺っている。今後実施箇所を増やしていくためには、現在の神戸市の**補助制度のさらなる拡充が必要**と考えるが見解を伺いたい。

答弁 子ども食堂の運営には経済的な基盤が必要であり、利用しやすい支援制度にすることが非常に大事であることから、具体的な検討を今後も進めていきたい。

要望

今子どもの貧困が、子どもたちの7人に1人に起きている。**未来を担う子どもたちが食べることで決してひもじい、空腹な思いをしないように、何とかスピード感を持って取り組んでいただきたい。**

※子ども食堂…地域の子どもたちや保護者などを対象に食事を提供する場（コミュニティ）のこと。



昨年からの訴えが実現に結び付きました！

昨年10月2日の決算特別委員会で保健福祉局に対し、「**駅員不在時でもエスカレーターの自動運転ができるように、神戸市から阪神電車に要望できないか**」と質疑をしました。

その後も阪神電車へ要望を継続してきた結果、ついに10月1日から、**阪神電車（魚崎・青木・深江駅）の区内3駅において、始発から終電までのエスカレーター終日運転が実現**しました。

今後も、**阪神住吉駅へのエレベーター設置の実現に向けて、粘り強く訴え続けて参ります。**

終日運転前



実現後



2019年秋号



編集・発行：立憲民主党神戸市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

令和2年 第2回定例市会【9月議会】開催 日程（9月18日～10月28日）

新型コロナウイルス感染症が、神戸市内においても継続的に発生している状況から、「withコロナ」時代における市民生活や市内事業者の経済活動を支えていくために、新型コロナウイルス感染症対策の補正予算（第3弾）が成立しました。

4つの柱の内容に対して、82億4,700万円が編成されています。

引き続き、市民のみなさんの安心安全につなげていくように、意見反映に努めて参ります。

補正予算の4つの柱

① 検査体制の強化及び医療体制の安定的確保

- 不安を抱える妊婦への分娩前PCR検査の実施【1億2,300万円】
- 新型コロナウイルス専用健康相談窓口（24時間体制）【1億5,800万円】や、軽症者等を受け入れる宿泊療養施設の通年化【10億700万円】
- 児童福祉施設【11億300万円】や公立幼稚園【1,700万円】における消毒液、パネル等の感染防止対策備品購入費等の補助（1施設当たり50万円）

② 市民生活の支援と新しい生活様式への対応

- 児童生徒1人1台のノートパソコンの導入【17億3,700万円】
- 小中学校（小6・中3）における、休業期間中に生じた学習の遅れを補うための教員の追加配置【1億1,100万円】

- 障がい者の就労継続への支援（生産活動収入が減収している事業所と利用者へ）【1億1,400万円】

③ 経済活動の支援

- 市民を対象としたプレミアム付宿泊等クーポンの抽選販売、KOBE観光スマートパスポートの市民限定半額割引販売【2億5,300万円】
- 「六甲・有馬アート・ナイト・プロジェクト」や有馬温泉の魅力発信【2,000万円】
- 中小企業奨学金返済支援制度の拡充【3,000万円】

④ 災害復旧等の喫緊の課題への対応

- 令和2年7月「梅雨前線豪雨」による災害箇所の復旧【10億5,400万円】

代表質疑（9月29日）

本会議で、会派の代表質疑を務め、市長、副市長、教育長、交通局長に見解を伺いました。



質疑の様子

1. 市バス・地下鉄の感染拡大防止対策について

やの質問 利用者の方々が、安心して神戸市バスと地下鉄をご利用できるように、**抗ウイルス・抗菌加工を実施**してはどうか。

交通局長答弁 お客様に少しでも安心して御乗車いただくために、市バス・地下鉄においても**できるだけ早く実施**をしていきたい。

やの要望

今後の感染拡大期の襲来に備え、交通局の**マスクやアルコール等の必要な備品の備蓄**をしっかりとお願いしたい。



2. 認知症「神戸モデル」について

やの質問 今後、安定してこの制度を運営するためにも、運用開始から1年が経過したことを踏まえて、検証をすべきと考えるが見解を伺いたい。

市長答弁 診断助成制度は、現在、医師会の協力により制度開始後1年間の実績をまとめているところで、この実績による検証も踏まえ、認知症神戸モデル全体についての検証を行い、令和4年度以降の対応を検討していきたい。

やの質問 認知症に関する総合電話相談窓口「こうべオレンジダイヤル」の1年間の利用実績と市民に対するの広報などの取組状況を伺いたい。

副市長答弁 令和元年度の相談受付件数は799件。チラシを作成し、診断助成制度の申込者や、あんしんすこやかセンター、民生委員・児童委員、地域団体まで幅広い方々に向けて周知している。



やの要望

私が暮らす御影中町地区は、年中無休のラジオ体操やランドゴルフ、コーラスや輪投げなど、様々な行事を通して高齢者が顔を合わす機会を確保し、認知症にならない、認知症を遅らせるための取り組みが盛んに行われている。

儀礼的なあいさつでなく、お互いに気付きあえる関係が、他の地域でも積極的に取り入れられるような周知活動もお願いしたい。

また、認知症になられた方やそのご家族を孤立させることなく寄り添っていくことで、認知症の人に優しい神戸のまちとなるように、引き続き各種施策の推進も重ねて要望する。

やの質問 コロナの感染拡大に伴い、出控えによる社会的孤立や筋力の低下など、新たな課題も生じている。健康寿命を延ばすフレイル対策が、重要な取組であると考えている。

副市長答弁 好評を得ている「KOBE元気!いきいき!!体操」のテレビ放映も継続するなど、今後も新しい生活様式の視点を踏まえたフレイル予防を推進していきたい。
※KOBE元気!いきいき!!体操…毎週土曜日
午前10時から10時半にサンテレビで放送中

こうべオレンジダイヤル
078-262-1717
受付時間：月曜～金曜日（9時～17時）
※土日、祝祭日、年末年始を除く

ご存知ですか? 「フレイル」って何ですか? 「フレイル」になると、どうなるんですか?

フレイル 健康寿命へのキーワード

「フレイル」とは、病気ではないけれど、年齢とともに全身の予備能力、筋力や心身の活力が低下している状態を言います。適切な食事と運動で再び良好な状態に戻して、健康に過ごしましょう。

あなたは大丈夫? **フレイルセルフチェック**

3つ以上に当てはまると **要注意**

- 体重の減少 (6か月間で体重が2〜3kg減少した)
- 疲労感 (以前より疲れやすくなった)
- 身体活動の低下 (外出しなくなった、人との交流が減った)
- 能力低下 (ペットボトルのふたを開けにくくなった)
- 歩行速度の低下 (歩行速度を測定した)

フレイル予防 ずっと元気いるために

「フレイル」は毎日の生活習慣で予防や回復が可能です!! 今からでも遅くはありません! 少し休んでもこつこつ継続することが大切です。

無理せずできることから **生活習慣を見直そう**

外に出て、いろいろな年齢の人と話す機会を持ちましょう。

定期的に体重を量って、食事が不足していないか確認しましょう。特に筋肉をつくるタンパク質や鉄、牛乳や乳製品を上手に取りましょう。

心臓や肺の機能を高めるウォーキング、筋力を高めるかかとを上げるなど、軽い運動から始めて、すこしずつと増やしていきましょう。

3. 今後のICT教育の取組について

やの質問 教員の負担軽減や児童生徒がスムーズにICT学習に移行できるように、ICT支援員の全校配置を目指してサポート体制の強化に努めるべきだと考えるがどうか。

教育長答弁 子どもたちの学びが充実するように、支援員をはじめ、様々な手段によりトータルとしてしっかりとサポートを行っていききたい。

やの質問 デジタル教材が導入された際に、ネット環境のない家庭や学童保育や児童館などで宿題をしている児童への対応を心配する声もとどいている。宿題等の持ち帰りの学習のあり方について、どのような想定をしているのか。

教育長答弁 放課後等にインターネットに接続して学習ができる場所を学校内に設けたり、宿題等を学校で事前にダウンロードできる仕組みが必要ではないかと、現在検討を行っている。

やの要望

小中学校の約11万人近い児童生徒への1人1台の端末配備後には、細々としたトラブルが起こり得ることが予想される。トラブル続きで子どもたちの学習意欲が低下することがないように、特に小学校1年生など低学年を中心に、きめ細やかなタイムリーなサポート体制の構築をすると共に、神戸の子どもたちに大きな負担として決してのしかかることがないように強く要望する。



令和2年度 決算特別委員会 (9月30日～10月16日)

令和元年度の神戸市各会計決算を審議のうえ承認しました。私は、決算特別委員会の第3分科会において、「教育委員会」と「こども家庭局」に対し質疑を行いました。質疑の様子は、記載のQRコードからご覧いただけます。

教育委員会への質疑 (10月7日)



質疑の様子

1. スクールサポートスタッフについて

質問 全校生が350人以下の学校も含めて、全ての学校へのスクールサポートスタッフの配置について見解を伺いたい。

要望

スクールサポートスタッフは、学校現場から非常に人気のある加配の1つなので、何とか全力で全校配置を要望する。

※スクールサポートスタッフ：学校への来客・電話対応や学習プリント等の準備など、教員が子どもの学びの保障に注力できるよう支援するスタッフ（現状の勤務時間は、午前8時からの4時間で、現在180校に配置）

答弁 教職員の能力が十分に発揮できるように、スクールサポートスタッフの配置も含めて、総合的な施策の展開を図ってまいりたい。



2. 熱中症対策について

質問 給食調理室のエアコンの設置状況が全国平均よりも下回っている。今後、特別教室や小学校体育館へのエアコンの設置の際に、給食室も併せて設計作業を行うことで、より早く給食室へのエアコン設置も実現できるのではないか。

要望

いまだにエアコンが全室設置されていない公共施設というのは、もう学校ぐらいではないか。日本の夏の学校園における子どもたち全ての命を守るために、早急に取組をお願いしたい。

答弁 今後も、教室と併せて、順次管理諸室（会議室や給食室等）も整備をしていきたい。

3. 英語教育の推進について

質問 2022年度をめどに、小学校5・6年で教科担任制を本格導入するため、教員確保策を具体化する提言も盛り込まれており、今後はALTを増員するよりも、英語専任教員を増員して、子どもたちの状況に合わせた授業を柔軟に行える体制を整えるべきではないか。

要望

将来の教科担任制を視野に入れながら、子どもたちのより分かる英語の授業のためにも、教員との事前の打合せがしやすい英語専任教員の増員を、引き続きお願いしたい。

答弁 充実した授業ができる効果が大きいので、今後も国の動向を注視しながら、英語専任教員配置の拡充に努めてまいりたい。

こども家庭局への質疑 (10月9日)



質疑の様子

1. こべっこあそびひろば六甲アイランドについて

質問 子どもたちの情操教育を進めていく上で、絵本の果たす役割は非常に重要であると考えている。新設されるこべっこあそびひろばにも、絵本コーナーの充実を図るべきではないかと考えるが見解を伺いたい。

要望

文化スポーツ局にも伝えているが、例えば自動図書貸出機や書籍の貸出しコーナーを設置するなど、こべっこあそびひろばで遊ぶ、そして本の貸し出しもできる素敵なセットの検討もお願いしたい。

※こべっこあそびひろば六甲アイランド…学齢前の子どもたちが、天候を気にせず室内で安全に遊べる施設。(ファッションプラザ内に、来春開設予定)



郵便はがき

料金別納郵便

議会改革

□□□□□□□□

— 市政のご相談はお気軽に —

池田りんたろう事務所 〒651-1302 神戸市北区藤原台中町1丁目6番
電話 078-982-1177 FAX 078-981-1801
立憲民主党神戸市会議員団 電話 078-322-5844 FAX 078-322-6161

神戸市議員 子どもたちの未来と明日の北区のために

池田りんたろう 市会ニュース

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL : 078-322-5844

飛翔こうべ

立憲民主党神戸市市会議員団は、久元市長がテーマに掲げる「海と山が育むグローバル貢献都市」のまちづくりに向けて政策提言を行い、市民の皆様とともに新しい神戸を創る政策集団として活動をしてまいります。

今年も神戸市政に対するご意見・ご提言を賜りますようお願い申し上げます。

国際金融都市づくり

電動キックボードの活用を提案

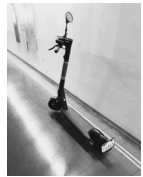
昨年、総務財政委員会や決算特別委員会の審議の中で①震災後、着実に進む医療産業都市づくりに加えて、新たに国際都市にふさわしいまちづくりに向けて国際金融センターの誘致など国際金融都市「リトル香港・神戸」構想を提起



決算特別委員会で審議する池田議員

し議論を行いました。未だ実を結んでいませんが、引き続き実現に向けて取り組みます。②また、電動

キックボードは、まちなかを気軽に移動するための手段として世界的に普及が進んでおり、神戸においても新たなパーソナルモビリティの活用について提案し質疑を交わしました。



結果、三宮エリアにおいて電動キックボードの公道走行の実証実験を行うことになりました。

【実証実験の期間】令和二年一月三日～令和三年三月一九日。



withコロナ時代の市政について、本会議で質疑しました!

PCR検査体制の強化について

Q 妊婦の方、持病のある方への検査体制と相談体制を強化すべきと考えますが、いかがでしょうか。

恩田副市長 不安を持つ妊婦の方に、PCR検査を受けられるよう支援する。また、新型コロナウイルスに感染した妊産婦に対して、保健師等の定期的な訪問や電話等により、妊娠や出産に関する不安、孤立感の解消、子育ての相談など寄り添った支援に取り組んでいきたい。



要望 高齢者や持病のある方、介護従事者などへ検査対象を拡げる必要があると思います。神戸市民への支援対策の充実や医療救急体制の確保を要望します!

神戸市では、今まで3回の補正予算を計上し、コロナ対策、市民と市内企業、事業主の方への支援を行っています。これからも市民のみなさまが安心して暮らせるよう、全力で取り組んでまいります。

北区の課題について、久元市長へ要望しました


今年度は、立憲民主党神戸市議員団の政調会長として来年度予算に向けた個別予算要望を取りまとめました。

私から特に、北区の課題である鈴蘭台西町にある北図書館・北区文化センター(旧名称:北区民センター)の駅近くへの再整備や、谷上駅前の再開発・皆森交差点の渋滞緩和を要望しました。



今年も市民の皆様からいただくお声を議会で発信し
神戸市政を前進させていきます!



料金別納郵便
教育 子育て 暮らし
 かいかく 改革

郵便はがき

□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---

神戸市議員

伊藤 めぐみ 北区

〒651-1243 神戸市北区山田町下谷上字かんじゃ11-3

Mobile / 080-6111-9969

✉ happy@itomegu.com



市政のこと、地域のこと
いつでも、どんなことでも
ご相談ください

伊藤めぐみ 神戸



www.itomegu.com



SNSで情報発信中!

